

## スクールソーシャルワーカーに係る義務標準法等の特例

### 1 福岡市のSSW現状

- ・相談件数が年々増加。介入し改善に至るケースも増加

| 年度   | H23 | H24 | H25 | H26   | H27   | H28   |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| 配置人数 | 8   | 10  | 12  | 24    | 25    | 28    |
| 相談件数 | 751 | 880 | 888 | 1,302 | 1,721 | 1,852 |
| 介入件数 | 200 | 245 | 272 | 444   | 596   | 445   |
| 終結件数 | 55  | 94  | 191 | 175   | 290   | 278   |

### 2 子どもを取り巻く環境の多様化・複雑化の状況

- ・子どもの貧困：子どもの貧困率(全国)は13.9%  
(7人に1人が貧困状態)
- ・就学援助：認定人数は増加  
26,391人(20年度)→29,145人(28年度)
- ・児童虐待：虐待通告相談件数は増加  
342件(20年度)→1,144件(28年度)
- ・ひとり親世帯：推計世帯数は増加  
21,332世帯(18年度)→22,681世帯(28年度)
- ・発達障がい：通常学級における発達障がいの児童数は増加  
403人(20年度)→1,814人(28年度)

### 3 SSWについての国の動向

#### ○中央教育審議会(中教審)答申(27年12月)

- ・SSW等を活用し、教職員がチームとして支援を行うことが重要
- ・SSWの正規職員としての規定、定数化(国庫負担)を検討

#### ○ニッポン一億総活躍プラン(28年6月)

- ・2019年度までにSSWを全中学校区に配置

#### ○中教審「学校における働き方改革部会」(29年11月中間案)

- ・支援が必要な児童生徒への対応は、教員と連携し、SSWなどが中心となって担うべき